

JUST NEWS No.5

発行：平成29年7月20日
発行責任：柏陽高校PTA会長 杉崎幸江
PTAブログ：<http://blog.goo.ne.jp/hkykpk>

PTA活動の本質を

見極める第一歩

◇第2回運営実行委員会を開催しました

7月14日(金)14時から、第2回運営実行委員会を開催しました。今回の議題は、各委員会の活動報告及び予定の確認でしたが、体育祭の振り返りに加え、柏陽祭参加の詳細を協議しました。

体育祭は、非公開の行事であることはご周知のことと思いますが、様々なご意見や感想をお寄せいただきました。特に決行の有無の連絡につきまして、ご心配・懸念が多くあったこと、学校にお伝えしましたので、ここに報告します。

また、この行事自体、「生徒による生徒のための体育祭」であることの本質を考えると、保護者として心がけることは、マナーある参観と、あくまでも後方支援です。今年度は仮設校舎工事期間とも重なり、様々な部分で制約がありました。観覧に際して、ご不便な部分もあつたかと思いますが、生徒の「笑顔」が最優先です。観覧に際しては、自主的に譲り合うなど、思わず「ありがとう」と笑みがこぼれるような、ご協力を切に願います。

柏陽祭での ボランティア募集 予定しています

体育祭・給水コーナーのボランティアへのご協力ありがとうございました。本部では、柏陽祭当日2日間でも、ボランティアの募集を予定しています。詳細は夏季休業明けに発行予定のJN6号をご覧ください。多くの皆様の参加を期待しております！

制服(リサイクル品・クリーニング済み)の回収も行なっています。来校の機会にぜひご協力下さい。

PTA 担当:久永先生・矢野先生
045-892-2106

各委員会の活動報告と予定

(6/9~9/8)

環境委員会(28人)

・夏休み水やりボランティアの応募数37名
「ちよっと手伝い隊」へ依頼なし
活動日7/19(水)

広報委員会(24人)

・6/28 体育祭取材
・7/19 球技大会取材予定
活動日7/19(水)

指導委員会(23人)

・6/30 第1回交通安全対策会議出席
・文化祭のオリジナル文具について企画立案、見積もり依頼
・「みちしるべ」編集
次回活動日8/29(火)

各委員会と本部で参加

・7/7~8 第63回関東大会高P連神奈川大会(*次頁報告参照)
・7/11 社会環境健全化推進街頭キャンペーン(港南台駅周辺)

成人委員会(24人)

・観劇:応募173名
(定員150名、くじ引きにて抽選)
・バスツアー企画:11/16(木)
「川越小江戸散策」
・バザー:寄付品と手作り品の販売
活動日7/14(金)

第 63 回関東地区高等学校 PTA 連合会大会 神奈川大会
「心ふれあう しなやかな 人づくり ～学び行動する PTA～」

7/7(金)8(土)パシフィコ横浜にて開催された大会には本部と各委員延べ 28 名で参加しました。本校の PTA 規約にある「涵養」の意義にふさわしい時間を共有することが出来ました。参加者のコメントを一部紹介します。

参加校発表を見て、同じ高校生を持つ親として、何かに一生懸命取り組む姿にもっともっと応援したい気持ちになりました。(指導)

野球が好きでアナウンサーになり、仕事も充実しているそう。自分のやりたい仕事を選ぶのは大事なことだと思いました。息子にもよく話してみます。(環境)

プログラムNoとしては 1 行のアトラクション。生徒らは、この 1 行のために鍛錬し、この瞬間を披露した。モチロン、全国大会レベルだ。若さ、情熱、エネルギー、来てよかったと感動(本部)

人気アナウンサー羽鳥さんは、さすがに話し上手でした。人の話をよく聞くことは難しいが、基本の心構えだそうです。(指導)

小学 1 年から大学 4 年までを横浜で過ごし、今の仕事に一番影響を与えたのが、横浜平沼高校での 3 年間。アナウンサーの大事な事は話すことより相手の話を聞くこと。聞くことは我慢すること、自分の事を話したいという気持ちを抑えることでもある。相手の事を中心に考えることが大事。(成人)

《全体会 参加校アトラクションと記念講演》
 湘南台高等学校：マーチングとダンスパフォーマンス
 金沢総合高等学校：チアダンス
 横浜南陵高等学校：手話ソング
 記念講演：「聞くちから、話すちから」
 講師：羽鳥慎一氏（フリーアナウンサー）

「わかりやすい話し方」は日頃の PTA 活動にもおおいに役立つと思います。「子どもの可能性を伸ばすコミュニケーション」では、親子の間でポジティブな雰囲気をつくるコツがわかり、成長期の子どもとの対話をもっと大切にしていきたいと感じました。
 同じ PTA の方たちと席を並べて学ぶことのできた有意義な時間でした。(成人)

「子どもはみな、大人の答えを求めている」とし、子どもが自信をもって進路(人生)を選び歩んでいけるように、親子のコミュニケーションについて考えました。スマイル効果、「笑顔は意図的につくるもの」が印象的でした。「笑顔」は今年の柏陽 PTA のキーワードです。みんなの笑顔で風通しのよい PTA を目指しましょう。(本部)

《分科会》
 「コミュニケーションと PTA
 もっとわかり合うために」
 講師：東京工芸大学教授 大島武
 会議運営や、建設的な話し合いのノウハウなど
 コミュニケーション論に基づく実践スタディ

《分科会》「進路指導と PTA」
 「保護者の支援する進路指導、保護者も学ぶ進路指導」
 「ふるさととの再発見」
 今市高校：保護者を講師に「進路講話」を開催
 北杜高校：市役所職員の講話、地元企業訪問

「成功体験」がやる気を生む → 小さな成功体験の積み重ねが大切。「失敗体験」が子どもを成長させる。→ 高校生は大人になる手前で「できること」と「できないこと」があると認知。この「万能感の崩壊」が大人になる前段階で重要。コミュニケーションは誤解があって当たり前という衝撃的な事実。この講演会で学んだことを日常生活で生かし、子どもの手本となるように心掛けようと思う。(広報)

「大人が良好なコミュニケーションの取り方を学び、磨き、子どもの見本になることが大切」という考え。スマホの画面ばかり見ている我が子は、大人のコミュニケーションから何かを感じとれるのだろうかという不安は拭えなかった。(広報)

生徒は各職業の特徴を知る、こうした保護者の支援が、将来を見据えた高校生活の一助となればとのことでした(指導)

高校生となっても、活発な PTA 活動、家庭教育の充実とともに地域社会との関わりなど、連携しての行動が大切なだと改めて考えさせられました。(指導)

地元以外の大学に進学し、進学先の地に就職するという、ルーティンでは、地方の人口減少、若者の流出問題を解消できないと考え、高校時代に地元、地元の企業の魅力を知ってもらい取り組みを始めたそうです。(指導)

子どもが自信を生み出す力を伸ばすこと、進路や人生を拓く上で重要な選択肢を見つけるのに、親子間のコミュニケーションで求められる事は、気配りではと感じました。これは PTA においても大切なことだといえます。伝えることが一方通行にならないようにしたいと思います。(本部)

大きな PTA 大会に、初めて参加。どの参加者の方も熱心で、「学校、PTA とともに、時代の変化を相互に確認していくことが必要である」と、助言者の先生のコメントが印象的でした。(指導)

進路指導委員会が、地元「ふるさと」の魅力や企業の魅力を生徒たちに伝える活動をしている。(環境)